

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
410024	X-13-B-2-410024	1	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
情報システム演習 (D分野) 2年 K1	宇田 隆幸			【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	専門	必修	1年
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門	必修	1年

授業目的

情報システム演習は、各自が主体的に「情報システム」を創造し、または情報システムを活用し、情報を創造するために必要になるであろう基礎的な方法・概念の取得を目的とした演習である。

情報システム演習 (D 分野) では、D 分野である「コンピュータと通信」の分野で必要となる、情報システムを開発するために必要なコンピュータと通信技術について、Web サイト作成を通して基本的な内容を具体的に学習する。

まず、Web の仕組みを理解し、実際に HTML とスタイルシート (CSS) を用いて Web ページを作成する手法を学習する。続いて、JavaScript によるプログラミングを取り入れた Web サイト作成を行う。さらにフォームを用いた Web サイト作成についても学習する。

各回毎の授業内容

第 1 回

【授】2 年前期は全体で SPI 模擬試験を行なう。2 年後期は研究室配属に関する説明を行う。
【前・後】事前：SPI の教科書を用意する。事後：各自で復習する (1 時間)。

第 2 回

【授】オリエンテーション：WWW について、Web 作成方法について、期末レポート・Web サイト作成の提示
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 3 回

【授】HTML (1)：HTML の説明、基本タグの使い方
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 4 回

【授】HTML (2)：リンクの作成、画像の表示、テーブルの作成
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 5 回

【授】CSS (1)：CSS の説明、基本的なスタイルの使い方
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 6 回

【授】CSS (2)：span と div タグ
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 7 回

【授】CSS (3)：id と class
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 8 回

【授】JavaScript (1)：JavaScript の説明、プログラミングの基礎の説明
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。

第 9 回

【授】JavaScript (2)：分岐と繰返し
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 10 回

【授】JavaScript (3)：関数とイベント
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 11 回

【授】JavaScript (4)：応用、まとめ
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 12 回

【授】フォーム (1)：フォームの説明、フォームの作り方
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 13 回

【授】フォーム (2)：JavaScript からフォームの利用
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 14 回

【授】Web サイト作成：これまで学習した内容をふまえ、各自で Web サイトを作成する
【前・後】事前：各自 Web サイトの構想を考える。事後：各自の Web サイトを完成させる。合計 1 時間。

第 15 回

【授】作成した Web サイトの発表：各自で作成した Web サイトを発表する。説明を記述したレポートを提出する
【前・後】事前：発表の準備。レポート作成。1 時間。

第 16 回

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合 (%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート	10	10	5		5		30
宿題・授業外レポート	5	5	5		5		20
授業態度・授業への参加							
成果発表 (口頭・実技)	5	5	5		5		20
演習	10	10	10				30
その他							

毎回演習時に提出する課題の評価 (60%)、作成した Web サイトの説明を記述したレポートの評価 (20%)、作成した Web サイトの評価 (20%) (技術、デザイン、独創性の観点から評価する)

前回の課題については次回に解説を行い、講評する。
作成した Web サイトについてもポータル等で講評を行う。

教科書参考書

1 年後期の第 1 回演習時に配布したテキストを使用する。

受講に当たっての留意事項

- ・演習に出席しなければ、成績評価の対象とならない
- ・受講学生の理解度により講義の順番 (日程) や分量を調整することがある

学習到達目標

- 1) 情報システムを分析し、設計するためのさまざまな手法を使って、問題解決に応用できるデザイン能力を身につける (レポートおよび作成した Web サイトにより評価)
- 2) 情報システムを有効に活用するための基礎的な考え方を、演習を通して身につける (演習時に提出する課題により評価)

JABEE

(2017 年度生以前) 関連する学習・教育到達目標：E

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年			
410024	X-13-B-2-410024	1	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×			
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×	×		
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×	×		
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×	×		
情報システム演習 (D分野) 2年 K2	中田 豊久			【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	×		
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×			
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	専門	必修	1年			
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門	必修	1年			

授業目的

情報システム演習は、各自が主体的に「情報システム」を創造し、または情報システムを活用し、情報を創造するために必要になるであろう基礎的な方法・概念の取得を目的とした演習である。

情報システム演習 (D 分野) では、D 分野である「コンピュータと通信」の分野で必要となる、情報システムを開発するために必要なコンピュータと通信技術について、Web サイト作成を通して基本的な内容を具体的に学習する。

まず、Web の仕組みを理解し、実際に HTML とスタイルシート (CSS) を用いて Web ページを作成する手法を学習する。続いて、JavaScript によるプログラミングを取り入れた Web サイト作成を行う。さらにフォームを用いた Web サイト作成についても学習する。

各回毎の授業内容

第 1 回

【授】2 年前期は全体で SPI 模擬試験を行なう。2 年後期は研究室配属に関する説明を行う。
【前・後】事前：SPI の教科書を用意する。事後：各自で復習する (1 時間)。

第 2 回

【授】オリエンテーション：WWW について、Web 作成方法について、期末レポート・Web サイト作成の提示
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 3 回

【授】HTML (1)：HTML の説明、基本タグの使い方
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 4 回

【授】HTML (2)：リンクの作成、画像の表示、テーブルの作成
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 5 回

【授】CSS (1)：CSS の説明、基本的なスタイルの使い方
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 6 回

【授】CSS (2)：span と div タグ
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 7 回

【授】CSS (3)：id と class
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 8 回

【授】JavaScript (1)：JavaScript の説明、プログラミングの基礎の説明
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。

第 9 回

【授】JavaScript (2)：分岐と繰返し
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 10 回

【授】JavaScript (3)：関数とイベント
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 11 回

【授】JavaScript (4)：応用、まとめ
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 12 回

【授】フォーム (1)：フォームの説明、フォームの作り方
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 13 回

【授】フォーム (2)：JavaScript からフォームの利用
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 14 回

【授】Web サイト作成：これまで学習した内容をふまえ、各自で Web サイトを作成する
【前・後】事前：各自 Web サイトの構想を考える。事後：各自の Web サイトを完成させる。合計 1 時間。

第 15 回

【授】作成した Web サイトの発表：各自で作成した Web サイトを発表する。説明を記述したレポートを提出する
【前・後】事前：発表の準備。レポート作成。1 時間。

第 16 回

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合 (%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート	10	10	5		5		30
宿題・授業外レポート	5	5	5		5		20
授業態度・授業への参加							
成果発表 (口頭・実技)	5	5	5		5		20
演習	10	10	10				30
その他							

毎回演習時に提出する課題の評価 (60%)、作成した Web サイトの説明を記述したレポートの評価 (20%)、作成した Web サイトの評価 (20%) (技術、デザイン、独創性の観点から評価する)

前回の課題については次回に解説を行い、講評する。
作成した Web サイトについてもポータル等で講評を行う。

教科書参考書

1 年後期の第 1 回演習時に配布したテキストを使用する。

受講に当たっての留意事項

- ・演習に出席しなければ、成績評価の対象とならない
- ・受講学生の理解度により講義の順番 (日程) や分量を調整することがある

学習到達目標

- 1) 情報システムを分析し、設計するためのさまざまな手法を使って、問題解決に応用できるデザイン能力を身につける (レポートおよび作成した Web サイトにより評価)
- 2) 情報システムを有効に活用するための基礎的な考え方を、演習を通して身につける (演習時に提出する課題により評価)

JABEE

(2017 年度生以前) 関連する学習・教育到達目標：E

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年			
410024	X-13-B-2-410024	1	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×			
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×	×		
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×	×		
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×	×		
情報システム演習 (D分野) 2年 K3	石川 洋			【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	×		
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×			
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	専門	必修	1年			
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門	必修	1年			

授業目的

情報システム演習は、各自が主体的に「情報システム」を創造し、または情報システムを活用し、情報を創造するために必要になるであろう基礎的な方法・概念の取得を目的とした演習である。

情報システム演習 (D 分野) では、D 分野である「コンピュータと通信」の分野で必要となる、情報システムを開発するために必要なコンピュータと通信技術について、Web サイト作成を通して基本的な内容を具体的に学習する。

まず、Web の仕組みを理解し、実際に HTML とスタイルシート (CSS) を用いて Web ページを作成する手法を学習する。続いて、JavaScript によるプログラミングを取り入れた Web サイト作成を行う。さらにフォームを用いた Web サイト作成についても学習する。

各回毎の授業内容

第 1 回

【授】2 年前期は全体で SPI 模擬試験を行なう。2 年後期は研究室配属に関する説明を行う。
【前・後】事前：SPI の教科書を用意する。事後：各自で復習する (1 時間)。

第 2 回

【授】オリエンテーション：WWW について、Web 作成方法について、期末レポート・Web サイト作成の提示
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 3 回

【授】HTML (1)：HTML の説明、基本タグの使い方
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 4 回

【授】HTML (2)：リンクの作成、画像の表示、テーブルの作成
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 5 回

【授】CSS (1)：CSS の説明、基本的なスタイルの使い方
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 6 回

【授】CSS (2)：span と div タグ
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 7 回

【授】CSS (3)：id と class
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 8 回

【授】JavaScript (1)：JavaScript の説明、プログラミングの基礎の説明
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。

第 9 回

【授】JavaScript (2)：分岐と繰返し
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 10 回

【授】JavaScript (3)：関数とイベント
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 11 回

【授】JavaScript (4)：応用、まとめ
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 12 回

【授】フォーム (1)：フォームの説明、フォームの作り方
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 13 回

【授】フォーム (2)：JavaScript からフォームの利用
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：演習課題の復習。合計 1 時間。

第 14 回

【授】Web サイト作成：これまで学習した内容をふまえ、各自で Web サイトを作成する
【前・後】事前：各自 Web サイトの構想を考える。事後：各自の Web サイトを完成させる。合計 1 時間。

第 15 回

【授】作成した Web サイトの発表：各自で作成した Web サイトを発表する。説明を記述したレポートを提出する
【前・後】事前：発表の準備。レポート作成。1 時間。

第 16 回

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合 (%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート	10	10	5		5		30
宿題・授業外レポート	5	5	5		5		20
授業態度・授業への参加							
成果発表 (口頭・実技)	5	5	5		5		20
演習	10	10	10				30
その他							

毎回演習時に提出する課題の評価 (60%)、作成した Web サイトの説明を記述したレポートの評価 (20%)、作成した Web サイトの評価 (20%) (技術、デザイン、独創性の観点から評価する)

前回の課題については次回に解説を行い、講評する。
作成した Web サイトについてもポータル等で講評を行う。

教科書参考書

1 年後期の第 1 回演習時に配布したテキストを使用する。

受講に当たっての留意事項

- ・演習に出席しなければ、成績評価の対象とならない
- ・受講学生の理解度により講義の順番 (日程) や分量を調整することがある

学習到達目標

- 1) 情報システムを分析し、設計するためのさまざまな手法を使って、問題解決に応用できるデザイン能力を身につける (レポートおよび作成した Web サイトにより評価)
- 2) 情報システムを有効に活用するための基礎的な考え方を、演習を通して身につける (演習時に提出する課題により評価)

JABEE

(2017 年度生以前) 関連する学習・教育到達目標：E

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習